



**Data**

監督・製作・脚本：張元 (チャン・ユアン)

原作：王朔 (ワン・シュオ) 『看上去很美』

出演：董博文 (ドゥン・ボウエン)  
／寧元元 (ニン・ユアンユアン)  
／陳曼媛 (チン・マンヤン)  
／趙瑞 (シャオ・ルイ)  
／李曉楓 (リ・シャオフェン)

## 👁️👁️ みどころ

中国第6世代監督の旗手、張元 (チャン・ユアン) 監督が放つ問題提起は、全寮制の幼稚園を舞台とした教育問題！

集団ウンチをはじめとする規律だらけの幼稚園の実態にビックリだが、大切なのは、ここから「あるべき教育とは？」を考えること。

今や教育崩壊先進国となったわが国が、この映画を反面教師としたうえで、やるべきことはいっぱいあるはずだが・・・。

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

## ■□■張元監督の最新作は、どんな問題提起を？■□■

言うまでもなく、張元 (チャン・ユアン) 監督は賈樟柯 (ジャ・ジャンクー) 監督や陸川 (ルー・チューアン) 監督らと並ぶ、中国第6世代監督の雄。私がこれまでに観た彼の作品は、『ただいま』(99年) (『シネマルーム17』421頁参照)、『緑茶』(02年) (『シネマルーム17』450頁参照)、『我愛你 (ウォ・アイ・ニー)』(03年) (『シネマルーム17』345頁参照) の3本だが、その星の数はそれぞれ4つ、4つ、4つ。

1963年生まれのチャン・ユアン監督は、海外で数々の賞を受賞したり、1994年にはタイム誌の「21世紀の世界の若きリーダー100人」の1人に選ばれるなど、海外での評価が高い。しかし、『北京バスターズ』『東宮西宮』(ビデオタイトル『インペリアル・パレス』) などが中国国内で上映禁止処分とされていることからわかるように、彼は衝撃性の高い題材を取りあげ、中国の問題点を赤裸々に表現しようとする問題提起型監督。第6世代監督にはジャ・ジャンクー監督やルー・チューアン監督など、チャン・ユアン監督とよく似たタイプの監督が多い。

そんなチャン・ユアン監督が最新作で放つ問題提起は、中国の教育問題。しかし、それを露骨に表現すれば即上映禁止処分にされることミエミエなだけに、彼が選んだのは王朔（ワン・シュオ）の原作を基とし、幼稚園の現場を題材とした「寓話」をつくること。

原作者のワン・シュオやチャン・ユアン監督と同じように、私も1950年代はじめの幼稚園時代の記憶が断片的に残っているが、それは楽しい思い出ばかり。しかし、この映画の主人公である4歳の男の子、方槍槍（ファン・チアンチアン）（董博文／ドゥン・ボウエン）の場合は・・・？

## ■□■カルチャーショックにとどめず、勉強が必要■□■

プレスシートには、中国映画字幕翻訳家の水野衛子氏が、彼女自身が4歳の息子を幼稚園に預けようとした時の体験を踏まえ、「中国の幼稚園事情」という解説を書いているので、是非それを勉強してもらいたい。もっとも、これを読まなくても映画を観れば、①全寮制の幼稚園の存在、②まるで軍隊のような厳しい規律と集団生活、③日中平和友好条約が1978年に締結され、やっと少し中国旅行が自由になった1980年代はじめに中国を旅行した日本人の誰もが驚いたという、集団でのお尻丸出しのウンチ事情、などにビクビクするはず。

2008年8月8日から開催される北京オリンピックでは、中国がいかにか先進国に追いつき、追い越そうとしているかを示すのに躍起になっているだけに、その時期にチャン・ユアン監督の表現する中国の幼稚園事情の問題点が日本に広まることに中国当局は神経を使っているかもしれないが、私たちはこの映画から単にカルチャーショックを受けるだけでなく、その実態について突っ込んだ勉強が必要では・・・？

## ■□■社会主義競争とは？■□■

私が大学に入った1967年以降、大学は学生運動の真っ只中に突入していった。そんな時代、共産党系（民青系）のセクトでは、「社会主義競争」という言葉がよく使われていた。これは、資本主義的な競争は否定しつつ、競争自体の必要性を肯定するもの。そして、競争の悪い面を捨て、良い面だけを抽出したものだが、さてその実態は・・・？

私たちはそんな社会主義競争の1つの表れを、父親が仕事の都合でチアンを預けた全寮制の幼稚園で採用されている「小さな赤い花」制度に見ることができる。これはつまり、李（リー）先生（趙瑞／シャオ・ルイ）や唐（タン）先生（李曉楓／リ・シャオフエン）の指導によく従い、良いことをした園児にはご褒美として紙でつくった赤い花を与え、逆におねしょをしたり、着替えができなかったり、ウンチができなかったり、食事前に手を洗えなかったりする聞き分けのない悪い子からはそれを取りあげるという形で競争させる制度だ。

入園当初泣き虫だったチアンは、原作者ワン・シュオの分身（？）であり、チャン・ユ

アン監督の分身(?)だから、自分の意思をもった聡明な男の子のはず。したがって、それなりに新しい環境に自分を順応させ、赤い花を貰えるよう努力していたようだが、やはり本質的に集団的、画一的押しつけに反発する子供がいるもの。きっとそれがワン・シュオであり、チャン・ユアン監督だったのだろうし、チアンもそのようだ。そのため、次第にそんな社会主義競争自体がバカバカしくなってきたチアンは・・・?

## ■□■小さい子供の演技からはすべてが正直に・・・■□■

この映画はチアンが主役だが、その主役度は60%(?)で、チャン・ユアン監督の実の娘である寧元元(ニン・ユアンユアン)が南燕(ナン・イエン)役であとの30%の主役を張っている。小さな男女の子供を主人公にした映画の代表は、フランス映画『禁じられた遊び』(51年)だが、子供たちの演技からはすべて正直に表現されるからすごい。もちろん、そのためにはちゃんとした子役を選出すること、それをうまく演出することが必要だが、その点この映画はバッチリ。

また、残り10%の主役度(?)は、南燕の妹北燕(ベイ・イエン)(陳曼媛/チン・マンヤン)や、先生にかわいがられる優等生の女の子らをはじめとする40名前後の園児たち全員。つまり、猿のマネをしていたためチアンから妖怪に仕立てあげられたリー先生をはじめとする先生たちは、チアンを中心とする園児たちのダイナミックな反乱と鎮圧のストーリーの引き立て役に過ぎないわけだ。ワン・シュオの原作を基に、小さい子供たちを主人公にしたチャン・ユアン監督が描き出す寓話の世界をしっかりと味わいたいものだ。

## ■□■やはり大人の策略には?■□■

私が中学2年生頃に観た印象深い映画がカーク・ダグラス主演の『スパルタカス』(60年)。私はこの映画のクライマックスシーンを今でもハッキリと覚えている。それは、奴隷の反乱を指揮したのは誰だ!と追及される中、奴隷たちが次々に「I am Spartacus!」と叫ぶシーン。

巨大なローマ帝国軍の前に奴隷の反乱は鎮圧されたが、4歳のチアンが鉄の規律を誇る幼稚園で巻き起こす反乱とは・・・?そんなことありえない、と考えてはダメ。現に耳から耳に口伝てに広がっていった「リー先生=妖怪説」は園児たちにまたたく間に広がり、ある日妖怪を縛り上げようと奴隷軍ならぬ園児軍が決起したのだから。しかし、スパルタカスの反乱と同じく、チアンの反乱はもろいものだった。反乱軍鎮王のため園長先生が立てた策略は、チアンの孤立化。つまり、チアンを他の園児たちと接触させないよう隔離することだった。

いくらチアンが利口だといっても、そこは4歳の子供のこと。やはり大人の立てた隔離という策略にはとても対抗できず、チアンの孤立化は進む一方だった。その結果、チアンが迎える結末とは・・・?

## ■何が大切なの？■

誰でもよかった…。これが最近頻発している通り魔殺人事件を引き起こした若者たちの共通語だが、日本はいつからこんな国に変質したの…。？「荒れた教室」への警鐘は、10年以上前から鳴らされていたが、今や日本は世界でも有数の教育崩壊先進国…。？こんなワケのわからない事件が多発する現状を見れば、そう思わざるをえない。

安倍元総理の肝入りで2006年10月に発足した「教育再生会議」は、福田総理によって2008年2月「教育再生懇談会」に衣替えされたうえ、「小中学生に携帯を持たせない」や自学自習に適した教科書への転換を目指すため

「教科書のページ数を倍増する」などの提案がなされているが、ホントにそんなもので間に合うの…。？そう思わざるをえないが、他方ではやるべき政策を矢継ぎ早やかつスピーディーにやっていくしか方法はない。しかし、しかし…。

ところで今、幼稚園や保育園の教育のあり方については、一体どんな議論がされているの…。？『小さな赤い花』で描かれた幼稚園像は論外だが、反面教師として学ぶべきものも多い。今日本で必要なのは、こんな映画を反面教師として幼稚園教育のあり方について真剣に議論することだと、私は思うのだが…。

149

弁護士 坂和章平 **LOWEY! LAWYER SHOW**

「小さな赤い花」

きょうからシネ・ヌーヴォーで公開



**子どもの自立と教育のあり方は？**

北京五輪のメダル獲得に注目だが、あるべき幼  
稚教育は予想どおり中国が、稚童教育の議論の深化は  
圧倒！しかし終了後？そんなが、中国の一  
束の成り育つ九六〇年代の幼稚園教育  
の安全問題の加速が顕著を描いた第六世代の旗手  
だ。大阪府内では橋下知 恵元監督の映画に注目  
事。「クソ教育委」発言！

「クソ教育委」発言！

の指導に従う良い子には

紙製の赤い花を手え、逆  
におねしょしたり、手洗  
いできない幼児からは  
それを取りあげるという  
制度。格差はダメ、競争  
はダメという思想が定着  
した日本とは対極にある  
価値観だ。

主人公は四歳の少年チ  
アン。演技経験ゼロの彼  
が見せる、立ちシヨンペ  
ンを含む「裸の演技」は  
お尻草！父親の仕事の  
都合で預けられた彼は、  
当初は赤い花の悪戯に劣

力。だが園の純問に耐え  
られなくなると、転じ  
て、五〇年代の「エチン  
の車写し理由なき反抗」  
のジェームズ・ディーン  
あるいは六〇年代の日本  
学生たちと同じ「反抗」

中、彼の革命は？  
歴史上反乱の成功は少  
ないし、チアンの反乱も  
失敗例の一つ。でも大阪  
府はこの反乱から学ぶ  
ことが多いのでは？

反乱軍団長のため園長が  
立てた戦術はチアンの孤  
立化だ。大団圓攻撃の  
中、彼の革命は？

「万国の労働者団結せ  
よ」はマルクスの言葉だ  
が、チアンは園児たちに  
「妖怪打倒のため団結せ  
よ」と呼び掛けたから大  
変、ローマ帝国打倒のた  
め奴隷たちが蜂起したス  
バルタカスの反乱や中国  
でター！根ざれている天  
安門事件と同じく彼の反  
乱は当初大成功したが、  
大人たちの反撃は執拗、

大阪日日新聞 2008 (平成20) 年10月11日

2008 (平成20) 年7月30日記